

ほんの たね

児童サービスを担当するようになって、多くの児童書に触れる機会をもらいました。そして、「子どもの本」は「子どもだけの本」ではないのだと気付かされました。子どもが主人公だけに、その視点や感情は真っすぐで、純粹で、苦しいくらい。でも、大人が思っているほど幼くも単純でもない。行動範囲や取り囲む世界が狭い分、その想像力は無限大。世間体や常識（と言われるもの）に縛られている大人とはワケが違います。「子どもってすごいな」と思うのと同時に、自分の中の想像力や冒険心、正義、探求心がムクムクと湧き上がってきます。

『シーラカンスとぼくらの冒険』の主人公マコトとアキラは小学6年生。中学受験を控えた夏休み、超現実的なマコトが地下鉄で電車に乗るシーラカンスと遭遇するところから物語は始まります。マコトとは正反対で超常現象が大好きなアキラは、マコトの話に飛びつき、二人はシーラカンスに会うため駅のホームで張り込みを開始。一週間目にしようやく電車の中にその姿を見つけます。「シーラのじいさん」には、地下鉄に乗って探し続けているものがありました。協力すると誓った二人とシーラカンスとの友情と大冒険がここから始まります。作者の歌代朔さんの文章と町田尚子さんの挿絵のコンビネーションも見事で、大人の想像力さえ無限に広げてくれます。

『5000キロ逃げてきたアーメット』は、紛争が絶えないシリアから難民として逃げてきたアーメットを助けようと奮闘するイギリスの小学生の物語。この本に登場する子どもたちは、友達のために自分にできることを必死に考え、危険を顧みず、正義を信じて行動にうつしていきます。友達の幸せをただひたすらに願う、その真っすぐな気持ちに何度読んでも胸が熱くなります。

大人になると、いつの間にか色々なものに縛られ、大切な一歩を踏み出すことに躊躇しがちです。そんな自分に、信じることに純粹で真っすぐだったあの頃、正義のためには何だってできと思っていたあの頃を思い出させてくれます。そして、大人になって度々立ち止まってしまう時、その背中をそっと押してくれる2冊です。

(H)

おすすめの本

- 1) 『シーラカンスとぼくらの冒険』
歌代朔／作 町田尚子／絵
あかね書房（ウ）
- 2) 『5000キロ逃げてきたアーメット』
オンジャリ Q. ラウフ／作 久保陽子／訳
学研プラス（ラ）

12月の行事

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
新刊 お話し会	休館					
10	11	12	13	14	15	16
新刊 お話し会		赤ちゃん お話し会				
17	18	19	20	21	22	23
新刊 お話し会					休館	
24	25	26	27	28	29	30
新刊					休館	休館

スペシャルおはなし会

<日曜> 新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目！
毎週11時から、幼児から
小学生低学年向けのお話し会が
あります。

<火曜> 第3火曜日 11時から、赤ちゃん
向けお話し会があります。

編集後記

皆様にとって、2023年はどんな一年でしたか？
わたしにとっては新しい環境で過ごした、「変化の一年」でした。変わることは大変なこともありますが、楽しいと思うこともたくさんあると感じました。
ことしもお世話になりました。来年もご来館をお待ちしています（I）

すがもらいぶらり

2023年12月5日 栄鴨図書館発行

長く暑い夏がようやく終わったと思っていたらあっという間に師走となり、TVなどのメディアでもクリスマス、年末年始の話題を目にすることが増えてきました。福袋については、様々な種類のものが発売されているので楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。

栄鴨図書館では本の福袋をご用意予定です。それぞれの福袋にテーマの記載があるので、ピンときたテーマの福袋をお選びください。児童書・一般書共に実施予定です。新たな本との出会いをお楽しみに。

そして、この場を借りて今年栄鴨図書館をご利用いただいたみなさまに感謝申し上げます。良いお年をお迎えください。来年は1月5日より開館いたします。

（館長）



じぞうくん

年末に、今年の漢字が発表されますね。みなさまの、今年の漢字は何でしたか？じぞうくんは...「地」...？

令和5年12月

イラスト作 S



10/28(土)～
11/23(木)
地下1階「すが
もぎやらりー」
にて開催いた
しました！



「びっくり展覧会」に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。今年で2回目となる、図書館で絵画を展示するという試みでしたが、様々なことが勉強となりました。展示にあたってご尽力いただきましたMYKさんをはじめ、童心社の方々にも、この場をかりて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

また、ご来館頂きました方に、アンケートにご協力いただきました。4歳から70代以上の幅広い方からご回答いただき、大変励みとなります。設問の1つで「思い出に残っている、大好きな絵本や童話」をお願いしました。その一部をご紹介しますと思います。

『おいしいのぼうけん』
(ふるたたるひ/さく たばたせいいち/画 童心社 1980)
『ぐりとぐら』
(中川李枝子/さく 大村百合子/え 福音館書店 1980)
「ばばばあちゃん」シリーズ
(さとうわきこ/さく・え 福音館書店 1987～)
『わたしのワンピース』
(にしまきかやこ/えとぶん こぐま社 1987)
『100万回いきたねこ』
(佐野洋子/作・絵 講談社 1977)
「かいけつゾロリ」シリーズ
(原ゆたか/さく・え ポプラ社 1987～)
「14ひきのねずみ」シリーズ
(いわむらかずお/作 童心社 1983～)
『ミッケ！』
(ウォルター・ウィック/写真 ジーン・マルゾーロ/文 糸井重里/訳 小学館 1992)

どれも素敵な、誰かの思い出になっている絵本だと思うと手に取りたくなりました。全て豊島区の図書館にございますので、絵本の世界を味わってみてください。
(N)

すがもらいぶらり

俳句ポスト フユ

ゆず湯にて祖母に似ている私の手 フルーツポンチ
しみじみと手を眺める。ゆず湯はどこか熱かしさを感じます。

おじさんは赤いちよんまげ大みそか おいちゃん
なつかしいですね。あの有名なおじさんのことですね。殿ー！

寒し冬なべを食べる時期おいしいな オパンチュウサギ
寄せ鍋、ちり鍋、鍋は冬ならではのもの。季語にもなっているんです。

発熱の吾子から遠く救急車 鯨一号
はらはらします。ご無事だったのですよね。

梨たべて柿たべ栗たべ蜜柑たべ もっとたべたい
食いしん坊！ 季語が四つも盛り込まれています。

大雪のゆきがっせんだ楽しいな 音瑠
今年は雪が降るでしょうか。雪合戦、懐かしいです。

手話帰り手話に溢れり冬の月 小あお
きつと美しい月のことを手話でおしゃべりしたのでしよう。

枯れ葉舞う衿もと寒し松ばやし カープ愛
松林のすーっとした香りも感じられます。

ケーキ待つ猫もいっしょにクリスマス マスターズキング
猫はケーキよりもちゅーるが大好き？

秋がすぎこたつの上にみかんかな たに介
日常の中に季節の移り変わりを感じますね。

手仕舞いて友は旅立ちびわの花 由佳
楚々としたさりげない花。ご友人への想いが込められています。

野や街を白く染めるやこの寒波 會澤
冬到来。景色の色彩もかわりますね。

なき母の星はどれかと冬の夜 鯉恭
冴えわたる冬の星。気丈なお母様だったのではないのでしょうか。

過ぎし日の吟行しのぶ紅葉狩り 陽
皆であるき、皆で句座を囲んだ思い出ですね。

石路の花面影さがす一周忌 さや薫
石路の花の黄色は、どこか懐かしく、心に残る色ですね。

持久走走り疲れて息白し 松尾太郎
ゴール寸前は白い息も輝きます。

サンタさんプレゼントはどこ楽しみだ 咲由莉
なんてかわいらしい。サンタさん、待ってますよー★

このきせつクリスマスツリーかざる時期 ンポチャム
図書館の児童室にもクリスマスツリーを飾りました。華やぎます。

寒稽古師とも床とも外気とも 巢鴨蘭奢侍
師の厳しさを詠まれたのでしょうか。

ゆきだるま北風の中立っている 岡
もう子供たちはお家に帰って行ったのでしょうか。

ストーブにあたたまりたいはいりたいたい セン
あたたかいお部屋に入りたいのかな？

スキーではつららやゆきであそぶんだ ジュン
都会ではほとんど見ることのないつらら。楽しみですね。